

第5期 雄武町総合計画

後期実施計画書

様式1

No. 09010150

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	(全体計画内容) ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成24年度～平成26年度 ・事業概要 ①預託費の1/4補助 ②哺乳牛施設に要する費用の1/4 ③育成舎等の増改築に係る費用の1/4 (①～③の合計額：限度額1戸当たり100万円) ・事業費 15,000千円×3年=45,000千円 平成27年度～平成29年度 ・事業費 9,000千円×3年=27,000千円
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	3 生産技術の向上	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	農業経営改善等緊急対策事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	事業申請者戸数	関係例規・法令名	有 雄武町農業経営改善等緊急対策事業補助金交付要綱	
事業目標	15戸	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係個別計画名	無	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	本町の酪農家が安定的な営農活動を図るため、雌雄判別精子の交配による優良雌牛を生産し、生乳生産量の拡大を図っているが、増頭となった雌牛が確実に飼育・搾乳されるよう、飼養に要する経費の一部を助成する。 ・3ヶ年の緊急対策事業とし、1戸当たり補助上限を3ヶ年で1,000千円とする。 本町酪農業を取り巻く厳しい状況を鑑み、酪農業経営者に対し、育成牛等の飼養環境の改善を支援することにより、ゆとりある酪農経営や、育成牛等の良好な生育環境の確保を図り、生乳生産量の確保等農業所得向上を進め、本町酪農振興に資することを目的とする。 ・平成27年度からs3ヶ年事業を継続し、1戸当たり補助上限を1,500千円とする。	雌子牛の飼養に要する費用の助成 15戸×1,000千円=15,000千円	雌子牛の飼養に要する費用の助成 15戸×500千円=7,500千円	雌子牛の飼養に要する費用の助成 18戸×500千円=9,000千円	雌子牛の飼養に要する費用の助成 18戸×500千円=9,000千円	雌子牛の飼養に要する費用の助成 18戸×500千円=9,000千円	
	事業費(千円)	49,500	15,000	7,500	9,000	9,000	9,000
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	49,500	15,000	7,500	9,000	9,000	9,000	
実績事業費	事業費(千円)	15,074	6,635	8,439	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	15,074	6,635	8,439				
関連事項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】	雌子牛の飼養に要する費用の助成	雌子牛の飼養に要する費用の助成				
		※事務事業評価結果 B-継続/拡充	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 申請農家戸数 15戸	申請農家戸数 15戸	申請農家戸数 18戸	申請農家戸数 18戸	申請農家戸数 18戸	
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率 44%	113%	0%	0%	0%	
	全体達成率 13%	30%	30%	30%	30%		
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	農業経営改善等緊急対策事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	南 慎一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	酪農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	育成牛の安定した飼養管理
【抱える課題やニーズは】	農業資材等の高騰により酪農経営が圧迫され、搾乳後継牛の計画的な確保・更新に支障をきたしている。また、子牛の生産から搾乳まで長期間にわたることから、経営悪化による離農が懸念される。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	搾乳後継牛となる雌子牛の計画的な確保・育成	①	事業申請者戸数
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	酪農業の経営継続、生乳生産量の確保・増大		目標年度
			実績年度
			目標値
			実績値
			達成度
			193.3 %
		②	目標年度
			実績年度
			目標値
			実績値
			達成度
			#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	預託料、育成牛施設、哺乳牛施設に係る補助	対象事業を行った酪農家に対して、事業に要した費用の一部を補助した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農業を取り巻く環境は依然として厳しく、本町酪農業の衰退が懸念されることから、経営安定化を図るために必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	事業の活用により酪農業の経営安定化が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	酪農家のニーズに沿った利用がされており、効率的な効果が図られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	補助事業を行うにあたり、自己負担と補助上限を定めており、公平であると考えます。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業費は申請戸数が計画を上回っており、期待した成果が得られていると考える。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
酪農業の持続的発展を進めるため、引き続き実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 休止 廃止